

16j システム設計 実践トレーニング

1. 研修要領

・募集定員	24名
・研修会場	NISA研修室（住所：〒850-0032 長崎市興善町4番6号）
・講師	富士通ラーニングメディア（FLM）講師：谷川直仁
・開催月日	2026年12月10日（木）・12月11日（金）
・実施時間・日数	9:30～17:30（7時間/日）・2日間（14時間）
・受講料（税別）	94,560円
・教材料（税別）	6,000円

2. 対象者

- ・システム設計作業を担当する方
- ※前提知識として、システム設計の基礎知識（機能設計・データ設計）があること。

3. カリキュラムの概要

システム設計の作業やその考え方を演習を通して修得するコースです。演習では、機能とデータの両面での考え方、ポイントの理解を目的に、事例企業の業務を題材とした画面レイアウトのレビュー、論理データモデルの修正などを行います。演習はグループ形式で行います。参加者同士の意見を交換することで、新たな観点に気づくことができます。

4. カリキュラムの詳細

2日間（14時間）

	科目	時間	科目の内容
12月10日	システム設計概要	0.5	1 システム設計とは 2 システム開発体系
	方式設計	0.5	1 方式設計の位置づけ 2 アプリケーション方式設計のポイント 3 基盤方式設計のポイント
	機能設計	1.5	1 機能設計の位置づけ 2 機能設計と他の作業の関係 3 プロセスの定義のポイント 4 画面設計のポイント 5 帳票設計のポイント 6 プロセス機能設計のポイント 7 基本設計のレビューのポイント 8 プログラムへの分割のポイント
	データ設計	4.5	1 データ設計の位置づけ 2 データ設計と他の作業の関係 3 論理テーブル設計のポイント 4 プロセスとデータの整合性検証のポイント 【演習1】
12月11日	画面設計・画面イベント定義演習	1.5	【演習1】続き 【演習2】 【発表】
	データ設計演習	5.5	【演習3】 【演習4】 【発表】
	計	14.0Hr	

※コース改善のため、予告なくカリキュラム及び教材を一部変更することがあります。

5. 使用教材

システム設計 実践トレーニング

6. 到達目標

本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。

1. システム化要件(システム機能やデータ構造など)を把握する。
2. システム機能の設計を行い、プロセスの設計をする。
3. 画面や帳票の入出力形式の設計をする。
4. データ(テーブル)の設計をする。

7. レベル

ITSS:アプリケーションスペシャリスト育成 - [*]テクノロジー【レベル:2】

ITSS:ソフトウェア開発育成 - [*]テクノロジー【レベル:2-3】

[*] ITスキル標準研修ロードマップにおけるコース群名